



エルブランド(E51)

ESM:2004年(平成16年)08月～

テキスト(タイトルのみ):

現象コード

 ▼

DTC

総説

エンジン

エンジン本体

潤滑システム

整備情報

準備品

エンジンオイル

点検

交換時期

交換要領

オイルフィルター

オイルポンプ

サービスデータ

冷却システム

エンジンコントロール

燃料システム

排気システム

アクセルコントロール

トランスミッション/トランス

ドライブライン/アクスル

サスペンション

ブレーキ

ステアリング

乗員保護装置

ボディー

空調

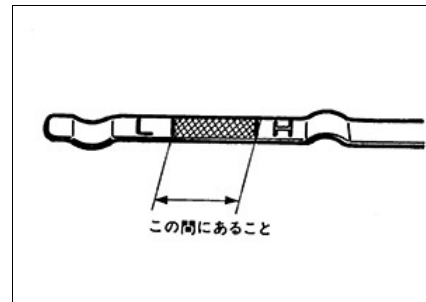
電装

エンジン - 潤滑システム - 整備情報 - エンジンオイル

点検

油量と汚れ

- 油量の点検は水平な場所でエンジン始動前に行う。始動した場合は停止後10分以上経過してから行う。
- LレベルとHレベルの間にオイルレベルがあるか点検し、油量が過不足の場合は調整する。



NISX0000000003537381-01-LCA0064D

- エンジンオイルに白濁、著しい汚れがないか点検し、異常がある場合は、エンジンオイルを交換する。
- 白濁している場合は冷却水混入の可能性が高いので、原因箇所を修理後エンジンオイルを交換する。

オイル漏れ

以下各部などからエンジンオイルの漏れがないか点検する。

- オイルパン
- オイルバンドレインプラグ
- オイルプレッシャースイッチ
- オイルフィルター
- CVTCカバー及びCVTCバルブ
- シリンダーブロックとシリンダーヘッドの接合面
- シリンダーヘッドとロッカーカバーの接合面
- フロントタイミングチェーンケースとリヤタイミングチェーンケースの接合面
- リヤタイミングチェーンケースとエンジンの接合面
- フロントオイルシール
- リヤオイルシール

油圧点検

- 1 油量を点検する。
- 2 アンダーカバーを取り外す。
- 3 オルタネーターブラケットを取り外す。[回路図](#)を参照する。

